

Sun Java™ System Web Server リリースノート (Microsoft Windows 版)

バージョン 6.1 SP5 2005Q4

Part No. 819-5875

Sun Java™ System Web Server 6.1 2005Q4 SP5 (Microsoft Windows 版) (以後 Sun Java System Web Server 6.1 SP5) には、重要なセキュリティー脆弱性の修正が含まれています。Sun Java System Web Server のすべてのユーザー、特に Secure Sockets Layer (SSL) バージョン 3 または Transport Security Layer (TLS) を使用した Web サイトのユーザーは、このサービスパックをインストールすることをお勧めします。このリリースでは、Windows プラットフォームに対するサポートを提供します。

このリリースノートには、機能、既知の制限と問題、技術情報、その他の情報の入手先についてなど、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 がリリースされた時点で利用できる重要な情報が含まれています。ソフトウェアのインストールおよび構成の前にリリースノートを確認し、その後も定期的に最新の情報を参照してください。

このリリースノートの最新版は次の Sun Java System マニュアル Web サイトから入手できます。
<http://docs.sun.com/app/docs/prod/entsys.05q4?l=ja> ソフトウェアをインストールおよび設定する前、およびその後も定期的に Web サイトを参照して、最新のリリースノートや製品マニュアルを確認してください。

このリリースノートには、次の項目があります。

- [リリースノートの改訂履歴](#)
- [Web Server 6.1 SP5 2005Q4 について](#)
- [このリリースで修正されたバグ](#)
- [重要な情報](#)
- [既知の問題と制限事項](#)
- [問題の報告とフィードバックの方法](#)
- [その他の Sun のリソース](#)

リリースノートの改訂履歴

表 1 改訂履歴

日付	説明
2006年2月	商用リリース。
2005年11月	ベータ版リリース。

Web Server 6.1 SP5 2005Q4 について

次の項目について説明します。

- [Web Server の機能](#)
- [サポートされるプラットフォーム](#)
- [必要なパッチ](#)

Web Server の機能

Sun Java System Web Server では、次の機能が提供されています。

- [Java Servlet 2.3 および JavaServer Pages \(JSP\) 1.2 のサポート](#)
- [J2SE Platform 1.4.2_04 および J2SE Platform 1.5.0.04 のサポート](#)
- [WebDAV のサポート](#)
- [NSAPI フィルタのサポート](#)
- [HTTP 圧縮のサポート](#)
- [検索エンジンのサポート](#)
- [セキュリティ](#)
- [JNDI のサポート](#)
- [JDBC のサポート](#)
- [Sun ONE™ Studio 5 のサポート](#)
- [Active Server Pages のサポート](#)
- [PHP 互換性](#)

- [NSS 3.10.1.0 および NSPR 4.5.2 のサポート](#)

Java Servlet 2.3 および JavaServer Pages (JSP) 1.2 のサポート

Sun Java System Web Server では、Java 2 Platform, Enterprise Edition (J2EE) 準拠の Java Servlet 2.3 および JavaServer Pages (JSP) 1.2 仕様が実装されています。J2EE 準拠の Web コンテナにより、Java™ テクノロジ標準準拠の Web アプリケーションの設計と配備に必要な柔軟性と信頼性が提供されます。Web アプリケーションは仮想サーバーごとに配備できます。

これらのテクノロジーについては、次のリソースを参照してください。

- Java サーブレット
<http://java.sun.com/products/servlet/index.html>
- JSP (JavaServer Pages)
<http://java.sun.com/products/jsp/index.html>

Sun Java System Web Server のサーブレットおよび JSP の開発については、『Sun Java System Web Server 6.1 Programmer's Guide to Web Applications』を参照してください。

J2SE Platform 1.4.2_04 および J2SE Platform 1.5.0.04 のサポート

Sun Java System Web Server は、Java 2 Platform, Standard Edition (J2SE) 1.4.2_04 以降をサポートしています (32 ビットのみ。64 ビットはサポートしていない)。管理サーバーの使用を計画している場合は、JDK をインストールする必要があります。Web Server は J2SE Platform 1.5.0.04 もサポートしています。

注 : Sun Java System Web Server 6.1 (Windows 版) には JDK 1.5 が含まれています。

WebDAV のサポート

Sun Java System Web Server は、WebDAV (Web-based Distributed Authoring and Versioning) プロトコルをサポートしているため、次の機能を利用した Web パブリッシングが可能です。

- RFC 2518 準拠による RFC 2518 クライアントとの相互運用性
- Web パブリッシングのセキュリティーおよびアクセス制御
- ファイルシステムベースの WebDAV コレクションおよびリソースに対する発行の基本操作

WebDAV は、コンテンツのメタデータ、ネームスペース管理、および上書き保護を統合的にサポートします。これらのテクノロジーは、WebDAV をサポートする多くのオーサリングツールに組み込まれ、協同作業環境のための理想的な開発プラットフォームを提供します。

NSAPI フィルタのサポート

Sun Java System Web Server 6.1 リリースでは、NSAPI (Netscape Server Application Programmer's Interface) が拡張されて、NSAPI フィルタがサポートされるようになりました。

フィルタを使用すると、HTTP 要求および応答ストリームをカスタム処理できます。つまり、ある機能に対して提示されたコンテンツ、またはある機能によって生成されたコンテンツを横取りしたあと、それらを変更することが可能になります。たとえば、あるプラグインで、別の SAF (Server Application Function) によって生成された XML ページを横取りする NSAPI フィルタをインストールして、その XML ページをクライアントにとって適切な HTML、XHTML または WAP ページに変換することができます。あるいは、NSAPI フィルタは、クライアントから受信したデータを、別のプラグインに渡す前に解凍することもできます。

詳細は、『Sun Java System Web Server 6.1 NSAPI Programmer's Guide』を参照してください。

HTTP 圧縮のサポート

Sun Java System Web Server 6.1 は、コンテンツ圧縮をサポートしています。この機能により、コンテンツ量に合わせてハードウェアコストを増加させることなく、クライアントへの配信スピードを速め、より多くのコンテンツを提供できるようになります。コンテンツ圧縮により、コンテンツのダウンロード時間が減少します。これは、ダイアルアップ接続やトラフィックの多い接続を使用するユーザーにとって非常に重要な利点です。

詳細は、『Sun Java System Web Server 6.1 管理者ガイド』を参照してください。

検索エンジンのサポート

Sun Java System Web Server は、フルテキストの検索インデックス作成と検索を提供する Java ベースの検索エンジンをサポートしています。検索機能を使用すると、ユーザーはサーバー上のドキュメントを検索して、結果を Web ページに表示できます。サーバー管理者は、ユーザーが検索対象とするドキュメントのインデックスを作成し、固有のニーズに合わせて検索インタフェースをカスタマイズできます。

エンドユーザーが検索機能にアクセスするために使用できるデフォルトの URL は、次のとおりです。

```
http://<server-instance>:port number/search
```

例：

```
http://plaza:8080/search
```

エンドユーザーがこの URL を呼び出すと、Java Web アプリケーションである「検索」ページが開きます。

キーワード、およびオプションのクエリ演算子を含む、基本および高度な検索を実行する詳細な手順については、検索エンジンに付属のオンラインヘルプを参照してください。これらの情報にアクセスするには、「検索」ページの「ヘルプ」リンクをクリックしてください。

詳細は、『Sun Java System Web Server 6.1 管理者ガイド』を参照してください。

セキュリティ

Sun Java System Web Server では、プラットフォーム認証を使用してアクセスを制限できます。Sun Java System Web Server 6.1 は Java セキュリティーマネージャーをサポートしています。セキュリティマネージャーは、製品のインストール時には、デフォルトで無効になっています。これは、ある種のアプリケーションでは、パフォーマンスが際立って向上する可能性があるためです。セキュリティマネージャーを有効にすると、J2EE Web アプリケーションに与える権限を制限することにより、セキュリティを向上させることができます。セキュリティマネージャーを有効にするには、server.xml ファイル内のエントリのコメントを外します。

```
<JVMOPTIONS>-Djava.security.manager</JVMOPTIONS>
```

```
<JVMOPTIONS>-Djava.security.policy=instance_dir/config/erver.policy</JVMOPTIONS>
```

ここで、instance_dir は、このサーバーインスタンスのインストールディレクトリへのパスです。

server.xml の詳細は、Sun Java System Web Server 6.1 の『Administrator's Configuration File Reference』を参照してください。

JNDI のサポート

Sun Java System Web Server は、JNDI (Java Naming and Directory Interface™) をサポートします。JNDI により、多種多様なエンタープライズのネーミングサービスおよびディレクトリサービスへのシームレスな接続が可能になります。

JDBC のサポート

Sun Java System Web Server は、購入後すぐに使用できる、シームレスな JDBC™ (Java DataBase Connectivity) を提供し、業界標準の JDBC ドライバからカスタマイズされた JDBC ドライバまで幅広くサポートしています。

Sun ONE™ Studio 5 のサポート

Sun Java System Web Server は、Sun ONE Studio 5, Standard Edition をサポートしています。Sun ONE Studio テクノロジは、Java テクノロジ開発者のために Sun が提供する、強力で拡張可能な統合開発環境 (IDE) です。Sun ONE Studio 5 は NetBeans™ ソフトウェアをベースにしており、Sun ONE プラットフォームと統合されています (Sun Java System Web Server 6.1 以上のバージョンも、NetBeans 3.5 および 3.5.1 をサポートする)。

Sun ONE Studio は、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 がサポートするすべてのプラットフォームでサポートされています。Web Server のプラグインは、次の方法で入手できます。

- Sun Java System Web Server メディアキットの付属 CD
- Sun ONE Studio の AutoUpdate 機能の使用
- Sun Java System Web Server のダウンロードセンター (次の URL) から
<http://www.sun.com/software/download/products/3f567f91.html>

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 の Sun ONE Studio 5 プラグインは、ローカルの Web Server でのみ動作します (つまり、IDE と Web Server は同じマシン上に配備)。

Sun Java System Web Server の Sun ONE Studio 5 プラグインの動作は、Sun ONE Application Server 7 のプラグインの動作と同じです。Sun ONE Studio 5 での Web アプリケーション機能の使用については、次のチュートリアルを参照してください。

<http://developers.sun.com/prodtech/javatools/jsenterprise/learning/tutorials/#jse5>

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 インスタンスをデフォルトに設定してから、チュートリアルを実行してください。

次の NetBeans のチュートリアルも参照してください。

<http://www.netbeans.org/kb/41/>

Sun ONE Studio 5 の詳細は、次のサイトをご覧ください。

<http://www.sun.com/software/sundev/jde/>

開発者向けの追加リソースについては、このリリースノートの「その他の Sun のリソース」を参照してください。

デバッグのための Sun ONE Studio 5 の使用

デバッグモードで起動したリモート Web Server に IDE を手動で接続する場合、Sun ONE Studio 5 を「リモートデバッグ」用に使用できます。手順は、次のとおりです。

1. Sun Java System Web Server 管理インターフェースを使用して、サーバーインスタンスをデバッグモードで再起動します (「Server Manager」 > 「JVM General」 > 「Debug Enabled」)。
2. JPDA ポート番号を控えておきます。
3. IDE を起動します。
4. 「デバッグ」 > 「開始」の順に選択します。
5. `dt_socket` メソッドを選択してから、リモートマシン名および JPDA ポート番号を入力します。この時点で、配備されたアプリケーションのサーブレットソースコード上で、IDE に作成されたブレークポイントがアクティブになります。

Active Server Pages のサポート

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、Sun ONE Active Server Pages バージョン 4.0.1 (以前の Sun ChiliSoft ASP) を通じて Active Server Pages 3.0 仕様をサポートします。Sun ONE Active Server Pages により、Sun Java System Web Server に安全な企業レベルの Active Server Pages エンジンが追加されます。

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、次のプラットフォーム上で Sun ONE Active Server Pages 4.0.1 をサポートします。

- Microsoft Windows 2000

- Microsoft Windows XP
- Microsoft Windows 2003 Enterprise Server
- Microsoft Windows 2000 Advanced Server

Sun Java System Web Server にインストールする場合は、Sun ONE Active Server Pages のライセンスは必要ありません。Sun ONE Active Server Pages インストーラは、Sun Java System Web Server メディアキットを購入した場合は、付属 CD に含まれています。次の場所からダウンロードすることもできます。

<http://www.sun.com/software/chilisoft/index.html>

次の点に注意してください。

- Sun ONE Active Server Pages プラグインを使用するには、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 のインストール後にさらに約 50M バイトのディスク容量が必要になります。
- インストールを始める前に、管理者としてログインしていることを確認してください。

Sun ONE Active Server Pages の詳細については、上記の URL をご覧ください。

PHP 互換性

PHP は、PHP グループ (<http://www.php.net/>) から入手可能な人気の高いページスクリプト言語であり、サポート対象の API である CGI、NSAPI、および FastCGI の 3 つのうちのいずれかを使用して、Sun Java System Web Server で使用できます。PHP グループは、サポート対象の 3 つの API のいずれかを使用して PHP ソフトウェアを設定する方法を、Web サイトで詳細に説明しています。

CGI API は、使用できる中ではもっとも安定したインタフェースですが、CGI に固有のパフォーマンスの制限を受けます。

NSAPI は、Sun Java System Web Server のネイティブ API を利用し、Web Server のメモリー内で PHP ソフトウェアを実行します。この設定により最高のパフォーマンスが提供されますが、スレッドセーフでない PHP モジュールが使用されるとサーバーがクラッシュする危険があります。

FastCGI インタフェースは、PHP ソフトウェアが要求を処理した後も、Web Server のメモリー外で継続して実行できるようにすることにより、パフォーマンスと安定性の両方がある程度実現します。不安定な PHP モジュールが使用されても、Web Server がクラッシュすることはありません。このため、Sun は、PHP ソフトウェアでは FastCGI インタフェースを使用することをお勧めします。

FastCGI インタフェースは、FastCGI アドオンをインストールすることにより Web Server でサポートされます。FastCGI アドオンは次の場所から入手できます。

<http://www.sun.com/download/products.xml?id=3f567f91>

Fast CGI アドオンのインストールおよび設定についての詳細は、

<http://docs.sun.com/source/819-1809/fcgi61.html> にある FastCGI アドオンのマニュアルを参照してください。

注: PHP ソフトウェアは、FastCGI プロセスとして実行した場合、PHP プロセスのライフサイクルを制御するために 2 つの環境変数を使用します。PHP_FCGI_CHILDREN は、要求に対する応答として作成される PHP プロセスの数を決定します。PHP_FCGI_MAX_REQUESTS は、PHP プロセス自体を終了して新しい PHP プロセスに置き換えられるまでに応答できる要求の数を決定します。Sun は、PHP_FCGI_CHILDREN の使用は推奨せず、代わりに FastCGI アドオンの設定パラメータ min-proc で PHP プロセスの最小数を制御することをお勧めします。

NSS 3.10.1.0 および NSPR 4.5.2 のサポート

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 においてサポートされる NSS が、3.9.5 (バージョン 6.1 SP4) から 3.10.1.0 にアップグレードされました。NSS は、セキュリティー機能が有効なサーバーアプリケーションを複数のプラットフォーム間で開発するために設計された、ライブラリのセットです。Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、NSPR 4.5.2 もサポートしています。

サポートされるプラットフォーム

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 は、Solaris、HP-UX、AIX、Linux、および Windows プラットフォームにインストールできます。次の表は、プラットフォームのサポートについてまとめたものです。インストール要件の詳細は、このリリースノートの「必要なパッチ」および『Sun Java System Web Server 6.1 インストールおよび移行ガイド』の第 2 章を参照してください。

注: HP-UX 11i は、PA-RISC プラットフォーム上でのみサポートされます。

表 2 Sun Java System Web Server 6.1 SP5 でサポートされるプラットフォーム

ベンダー	アーキテクチャー	オペレーティングシステム	必要最小限のメモリー	推奨するメモリー	推奨するディスク容量
IBM	PowerPC	IBM AIX 5.1、5.2、5.3	64M バイト	192M バイト	256M バイト
Hewlett-Packard	PA-RISC 2.0	HP-UX 11i	64M バイト	192M バイト	256M バイト
Microsoft	Intel x86	Windows 2000 Server SP4、Windows XP、Windows 2003 Enterprise Server	64M バイト	192M バイト	256M バイト
Sun	UltraSPARC*	Solaris 8、9、10	64M バイト	192M バイト	256M バイト
Sun	x86	Solaris 9、10	64M バイト	192M バイト	256M バイト
Sun	x86 および SPARC	Trusted Solaris 8 (Pro Serve のみ)**	64M バイト	192M バイト	256M バイト

表 2 Sun Java System Web Server 6.1 SP5 でサポートされるプラットフォーム (続き)

ベンダー	アーキテクチャー	オペレーティングシステム	必要最小限の メモリー	推奨するメモ リー	推奨するディ スク容量
Linux***	RedHat Intel x86	Red Hat Linux Advanced Server 2.1 Kernel 2.4.9-e.3smp glibc-2.2.4-26 ncurses-4-5.0-5.i386.rpm libncurses5.so から libncurses4.so に対してシン ボリックリンクを作成するこ ともできますが、 ncurses4-5.0-5.i386.rpm のインストールが推奨されて います。 および Red Hat Advanced Server 3.0	64M バイト	192M バイト	256M バイト

* AIX 5.1 は推奨されていません。

*iPlanet Web Server 6.0 では、古い SPARC CPU はサポートされません。Sun Java System Web Server 6.1 では引き続き UltraSPARC アーキテクチャーがサポートされます。

**Sun または iForce によるパートナープロフェッショナルサービスを強くお勧めします。

*** 次の Linux オペレーティングシステムのサポートは「廃止」と表記されることになりました。Sun Java System Web Server 6.0 製品の次のリリースで削除される予定です。

Sun Linux 5.0

お使いの Web Server をサポートされるオペレーティングシステムへ変更または移行するために必要な対応を行ってください。

必要なパッチ

適用可能な最新のパッチを使用して、オペレーティングシステムをアップデートすることをお勧めします。必要なパッチをプラットフォーム別に示します。

- [Solaris のパッチ](#)
- [HP-UX のパッチ](#)
- [AIX のパッチ](#)
- [Windows のパッチ](#)

Solaris のパッチ

Solaris ユーザーは、次のサイトの「推奨 & セキュリティーパッチ」セクションで入手可能な、Sun の推奨パッチクラスタをインストールする必要があります。 <http://sunsolve.sun.com>

Solaris 8 (SPARC)

- Solaris 8 Update 7
- Sun 推奨の最新セキュリティおよび推奨パッチクラスタ。

Solaris 9 (SPARC および x86)

- Solaris 9 Update 4 以降。
- Sun 推奨の最新セキュリティおよび推奨パッチクラスタ。

HP-UX のパッチ

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 を使用するためには、次のパッチが必要です。

HP-UX 11i

注: HP-UX 11i は、PA-RISC プラットフォーム上でのみサポートされます。

- HP-UX 11i オペレーティング環境コンポーネント B.11.11.0203
- 11i に付属する必要なパッチ (2003 年 6 月) - B.11.11.0306.1
- HP-UX 11i 用 Gold Base パッチ (2003 年 6 月) - B.11.11.0306.4
- HP-UX 11i 用 Gold Application パッチ (2003 年 6 月) - B.11.11.0306.4
- Pthread の拡張および修正 - PHCO_29109
- Pthread.h の修正および新しい拡張機能 - PHCO_27633
- libc manpage 累積パッチ - PHCO_29328
- libc 累積パッチ - PHCO_29495
- Java Out-of-Box - JAVA_OOB, 1.0.00.02

Java Out-of-Box ツールは、必要なカーネル調整可能パラメータを構成するのに使用されます。カーネルの値を変更する場合には、このツールを使用することをお勧めします。必要に応じて、次に示す調整可能パラメータが右側の値以上になるように変更してください。

- nkthreads - 3635
- maxfiles - 60
- maxfiles_lim - 1024
- max_thread_proc - 512

- maxswapchunks - 2048
- nfile - 4136
- ncallout - 3651
- nproc - 2068

警告 カーネル調整可能パラメータの変更は、システムに悪影響を及ぼす可能性があります。変更内容を完全に理解していない場合は変更しないでください。

AIX のパッチ

Sun Java System Web Server 6.1 SP5 を使用するためには、次のパッチが必要です。

AIX 5.1

- 基本レベルの OS - AIX 5.1
- 保守レベルのパッチ - 5100-05
- JDK APAR-IY46667 は必須

AIX 5.2

- 基本レベルの OS - AIX 5.2
- 保守レベルのパッチ - 5200-02
- JDK APAR-IY46668 は必須

Web Server 上に Java Web アプリケーションが配置されている場合、IBM JDK のマニュアルによれば、サーバーを起動する前に次のように環境変数を設定する必要があります。

- `export AIXTHREAD_SCOPE=S`
- `export AIXTHREAD_MUTEX_DEBUG=OFF`
- `export AIXTHREAD_RWLOCK_DEBUG=OFF`
- `export AIXTHREAD_COND_DEBUG=OFF`

上記は、Web サーバーの起動スクリプトに直接追加できます。

AIX 5.3

- 基本レベルの OS - AIX 5.3
- 保守レベルのパッチ - 5300-01

Windows のパッチ

- Windows 2000 Advanced Server *SP4

このリリースで修正されたバグ

Web Server 6.1 SP5 2005Q4 で修正されたバグを、次の表に示します。

表 3 Web Server 6.1 SP5 2005Q4 で修正されたバグ

バグ番号	説明
6218946	検索機能を使用できない。

重要な情報

次の項目について説明します。

- [インストールに関する注意事項](#)
- [製品マニュアル](#)
- [障害をお持ちのユーザー向けのアクセシビリティ機能](#)

インストールに関する注意事項

この節では、Sun Java System Web Server のインストールに関する注意事項を示します。これらの項目の詳細は、『Sun Java System Web Server 6.1 インストールおよび移行ガイド』の情報を参照してください。このマニュアルで Sun Java System Web Server 6.1 について説明されている内容は、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 にも適用されます。Sun Java System Web Server のこのリリースにおける既知の問題については、このリリースノートの「既知の問題」を参照してください。

Web Server を、ディレクトリ名に空白が含まれているディレクトリにインストールしないでください。

Web Server のインストールまたは設定で、スペースを含むフォルダ名を使用することはできません。Web Server は、たとえば Program Files のように、ディレクトリ名に空白が含まれているディレクトリにインストールされると **起動しない**ので注意してください。これについてのエラーメッセージは、インストール中には表示されませんが、インストール後にサーバーは起動しません。

GUI 設定はサポートされていません。

このリリースでは、GUI 設定はサポートされていません。

パッチの要件についての情報

次の表に、整合パッチの番号と最低バージョンを示します。ここに示されているパッチはすべて、アップグレードで必要とされる最低バージョンです。このリリースノートの出版後に新しいバージョンのパッチが発行されている可能性もあります。新しいバージョンには、パッチの末尾に異なるバージョン番号が表記してあります。たとえば、123456-04 は 123456-02 より新しいバージョンですが、パッチ ID は同じです。各パッチに固有の手順については、README ファイルを参照してください。

パッチを入手するには、<http://sunsolve.sun.com> にアクセスしてください。

表 4 Windows に必要な Web Server 6.1 SP5 2005Q4 整合パッチ

パッチ番号	パッチの説明
121523-01	Windows (MSI): 共有コンポーネント
121524-01	Windows (MSI): Sun Java™ System Web Server 6.1 SP5 2005Q4

Web Server を JES3 から JES4 にアップグレードする手順については、<http://docs.sun.com/app/docs/doc/819-4461> にある『Sun Java Enterprise System 2005Q4 Upgrade Guide for Microsoft Windows』を参照してください。

製品マニュアル

Sun Java System Web Server には、製品マニュアルの完全なセットがあり、次の場所で参照できます。<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1308.1>

Sun Java System Web Server のマニュアルは、PDF および HTML 形式のオンラインファイルとして利用できます。このマニュアルで Sun Java System Web Server 6.1 について説明されている内容は、Sun Java System Web Server 6.1 SP5 にも適用されます。次の表に、各マニュアルで説明されている作業と概要の一覧を示します。

表 5 Sun Java System Web Server マニュアルロードマップ

参照事項	参照先
ソフトウェアおよびマニュアルについての最新情報	『リリースノート』
Sun Java System Web Server 入門。サーバーの基本と機能を紹介する実習を含む (はじめて使用するユーザーに推奨)	『Getting Started Guide』

表 5 Sun Java System Web Server マニュアルロードマップ (続き)

参照事項	参照先
次のインストールおよび移行作業の実行	『インストールおよび移行ガイド』
<ul style="list-style-type: none"> • Sun Java System Web Server とその多様なコンポーネントのインストール、サポートするプラットフォーム、および環境 • 以前のバージョンの Sun Java System Web Server からの移行 	このガイドは次に示す Web Server のインストール場所からも入手可能です。 server_root¥manual¥https¥ig¥
次の管理作業の実行	『管理者ガイド』
<ul style="list-style-type: none"> • 管理およびコマンド行インタフェースの使用 • サーバー環境の設定 • サーバーインスタンスの使用 • サーバーアクティビティの監視およびログ • サーバー保護のための証明書および公開鍵暗号の使用 • サーバー保護のためのアクセス制御の設定 • Java™ 2 Platform、Enterprise Edition (J2EE プラットフォーム) のセキュリティー機能の使用 • アプリケーションの配備 • 仮想サーバーの管理 • パフォーマンスニーズに合わせたサーバー作業負荷の定義およびシステムのサイズ決定 • サーバードキュメントのコンテンツと属性の検索、およびテキスト検索インタフェースの作成 • コンテンツ圧縮のためのサーバー設定 • WebDAV を使用した Web 発行およびコンテンツオーサリングのためのサーバー設定 	このガイドは次に示す Web Server のインストール場所からも入手可能です。 server_root¥manual¥https¥ag¥
以下を実行するためのプログラミングテクノロジーおよび API の使用	『Programmer's Guide』
<ul style="list-style-type: none"> • Sun Java System Web Server の拡張および変更 • クライアントの要求に応じたコンテンツの動的生成 • サーバーのコンテンツの変更 	
カスタム NSAPI (Netscape Server Application Programmer's Interface) プラグインの作成	『NSAPI Programmer's Guide』
Sun Java System Web Server におけるサーブレットおよび JavaServer Pages™ (JSP™) テクノロジーの実装	『Programmer's Guide to Web Applications』

表 5 Sun Java System Web Server マニュアルロードマップ (続き)

参照事項	参照先
設定ファイルの編集	『Administrator's Configuration File Reference』
パフォーマンス最適化のための Sun Java System Web Server の調整	『Performance Tuning, Sizing, and Scaling Guide』

障害をお持ちのユーザー向けのアクセシビリティ機能

このメディアの出版以降にリリースされたアクセシビリティ機能を手に入れるには、Sun に米国リハビリテーション法 508 条に関する製品評価資料を請求し、その内容を確認して、どのバージョンが、アクセシビリティに対応したソリューションを配備するためにもっとも適しているかを特定してください。更新バージョンのアプリケーションは、<http://sun.com/software/javaenterprisesystem/get.html> にあります。

アクセシビリティに対する Sun の対応については、<http://sun.com/access> を参照してください。

既知の問題と制限事項

なし。

問題の報告とフィードバックの方法

Sun Java System Web Server で問題が発生した場合は、次のいずれかの方法で Sun カスタマサポートにお問い合わせください。

- Sun ソフトウェアのサポートサービスのオンライン
<http://www.sun.com/service/support/software/>
- 保守契約に対応した電話番号

できるだけ適切に問題に対処するために、お問い合わせの際には次の情報をお知らせください。

- 問題の詳細な内容 (発生状況や業務への影響の度合など)
- マシンのタイプ、OS のバージョン、および製品のバージョン (問題に関連している可能性のあるパッチやその他のソフトウェアを含む)

- 問題を再現するための詳細な手順
- エラーログおよびコアダンプ

ご意見、ご要望の送付先

Sun ではマニュアルの品質向上のため、お客様のご意見、ご要望をお受けしております。Sun へのご意見は、次のサイト内の「コメントの送信」リンクを使用してお送りください。

<http://docs.sun.com/>

ご意見をお送りいただく場合は、マニュアルの Part No. やタイトル名などの識別情報もあわせてご記入ください。

その他の Sun のリソース

Sun Java System の有用な情報は、インターネット上の次の場所から入手できます。

- Sun Java System Web Server 6.1 および Service Pack のマニュアル
<http://docs.sun.com/app/docs/coll/1308.1>
- Sun ソフトウェア製品およびサービス
<http://www.sun.com/software>
- Sun 開発者向け情報
<http://developers.sun.com/>
- Sun 開発者サポートサービス
<http://developers.sun.com/prodtech/support/>
- ソフトウェアサポートサービス
<http://www.sun.com/service/support/software/>
- Sun サポート & トレーニングサービス
<http://training.sun.com>
- Sun コンサルティングおよびプロフェッショナルサービス
<http://www.sun.com/service/sunjavasystem/sjsservicessuite.html>

Copyright © 2006 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

本書で説明する製品で使用されている技術に関連した知的所有権は、Sun Microsystems, Inc. に帰属します。特に、制限を受けることなく、この知的所有権には、<http://www.sun.com/patents> の一覧に示される米国特許、および米国をはじめとする他の国々で取得された、または申請中の特許などが含まれています。

SUN PROPRIETARY/CONFIDENTIAL.

U.S. Government Rights - Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

ご使用はライセンス条項に従ってください。

本製品には、サードパーティーが開発した技術が含まれている場合があります。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。

Sun、Sun Microsystems、サンのロゴマーク、Java、および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標もしくは登録商標です。SPARC の商標はすべて、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用されている、米国およびその他の国における同社の商標または登録商標です。

その他の Sun のリソース